

# NOSAI



## 特集

第24回「農」絵画コンクール  
始めてみませんか？青色申告  
集まれ！已年農家

### 共済掛金は 口座振替が便利です

引受の適正化およびコンプライアンス(法令遵守)の観点から、共済掛金等の納入は便利な口座振替をお勧めしています。既に口座振替をしている方でも名義変更など口座情報に変更があった場合は、改めて手続きが必要です。

### 農業経営に役立つ情報をお届け！

#### 農業共済新聞 2カ月無料 試し読みキャンペーン実施中！

お申し込みはお近くの事務所または組合ホームページまで。

- 月4回(水曜日)発行
- 年間購読料5,520円▶3,300円(消費税、送料込み)

※本組合が2,220円負担します

### お問い合わせは お近くのNOSAI事務所まで

#### 事務所

神戸	戸	078-220-0044
阪東	神	079-550-0027
西脇	播磨	079-424-1390
三木	多可	0795-21-9002
小野	加東	0794-62-3433
加西	播磨	0790-21-9058
赤松	相	0791-45-1101
たつの	太子	0791-63-4800
宍粟	粟	0790-60-3004
佐用	用	0790-60-3002
豊岡	岡	0796-42-4133
南但	但	079-665-0215
香美	新温泉	0796-92-2410
丹波	篠山	079-550-9010
丹波	波	0795-74-1474
洲本	淡路	0799-28-1653
南あわじ	あわじ	0799-42-6210

#### 家畜診療所

阪東	神	078-991-4531
西脇	播磨	0794-63-2211
但馬	播磨	0791-63-0286
丹波	馬	0796-42-4135
洲本	波	0795-72-0244
南あわじ	淡路	0799-28-1650
	あわじ	0799-42-1037



「家族と一緒に過ごす時間が多く取れるのも牛飼いの魅力です」と田中さん夫妻

「より強く、よりおいしい牛を作るという視点で牛飼いをしています」と話すのは、田中畜産代表の田中一馬さん(46)。妻のあつみさん(37)と共に、香美町で但馬牛約95頭の肥育と繁殖を行っています。2002年に独立し、一馬さんが子牛生産と削蹄、あつみさんが飼育と精肉を主に担当しています。また、SNSでの発信にも力を入れて、「毎日牛と向き合うリアルな畜産農家の姿を発信することで、僕たちが日々感じている但馬牛のすごさが伝わってほしい。牛の背景を知ってもらおうことで、より豊かな食卓につながる」と考えています」と思いを話します。

「牛飼いを続けられていることが何よりうれしい」と田中さん夫妻。「但馬牛という世界一のブランド牛にトライできる楽しさをかみ締めながら、体が動かなくなるまで牛飼いを続けることが目標です」と、日々情熱を注ぎます。

YouTubeは  
こちらから



### お互いへのメッセージ

一馬さん これからもずっと一緒にいたいです。

お互い健康に気を付けて頑張りましょうね。 あつみさん

香美町

田中畜産

### 編集後記

「農」絵画コンクールでは応募者全員に「ミニTシャツ」をプレゼントしています。手作業で作成しているのなかなか大変ですが、「図工展で飾りました」「かわいいTシャツで喜んでいます」と温かい声をいただいた時に、改めて開催して良かったなと思います。子どもたちが少しでも農業に興味を持つきっかけとして、これからも絵画コンクールを続けてまいります。新小学3年生を迎えるお子さんやお孫さんに、ぜひコンクールのことを教えてあげてください。たくさんのご応募お待ちしております。(小西)



「そろそろしゅうかくするぞ！」

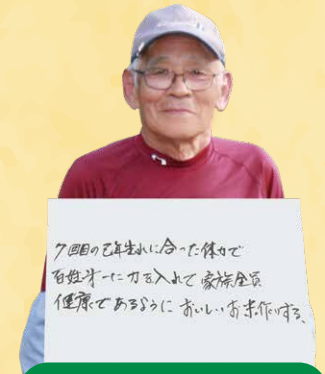






# 集まれ! 巳年農家

Q ①農業の楽しいところは? ②へびにちなんで、脱皮したいことは?  
③12年後の自分はようになっていたい? ④お正月といえば?



1941年生まれ

かつたに てるお  
勝谷輝雄さん(83) 相生市  
水稲16畝と野菜10畝を栽培

A

- ①お米、野菜を一生懸命に作って収穫する時に、喜びとものづくりの楽しさを感じます。
- ②最近、かんぴょうやショウガといった今まで作ったことのない作物に取り組んでいます。可能な範囲で新たなチャレンジをしていきたいです。
- ③同じ地域の96歳の方が、少しでもお米を作っているの、自分も同じような年齢になった時に、体に合わせて少しでも農業を続けていければいいと思います。
- ④子どもや孫が集まって、総勢18人で出かけることが毎年の恒例で楽しみです。

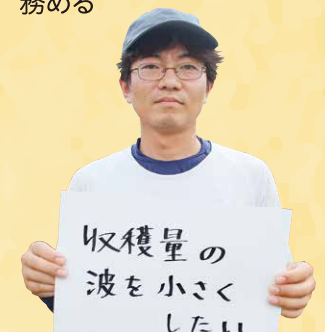


1965年生まれ

つじの よしあき  
辻野吉昭さん(59) 豊岡市  
枝豆や黒大豆など畑1.5畝と水稲50畝を栽培する傍らパラグライダーの指導員を務める

A

- ①自然に溶け込み生きている実感を堪能できるのでしょうか。
- ②時間を多く要する作物にも、失敗を恐れずチャレンジしてみたいと思っています。
- ③もうけているじじいの姿、農業をやってみたくて思われるカッコいい姿を若い人たちに見せたいです。
- ④おせちの「黒大豆」です。町の黒豆部会長をしていることもあり、品質が気になります。



1989年生まれ

いとう のりみち  
伊藤訓道さん(35) 稲美町  
イチゴ13畝を栽培

A

- ①イチゴの栽培は1シーズンが長く、苗作りも含め1年以上かかります。収穫する冬頃に、夏に行った苗作りや土づくりの成果が表れるので気は抜けませんが、数カ月後に良い成果が出た時に、やりがいや楽しさを感じます。
- ②イチゴの収穫がない夏から秋の間に、他作物の栽培に挑戦したいです。
- ③農業をすることに精いっぱいなので、毎年無事に農業を続けられたら満足です。
- ④イチゴの収穫シーズンで忙しいです!

2025年の干支は、「復活と再生」を意味する「巳」年です。  
巳年生まれの人は、結果が出るまでひたすら頑張り続ける粘り強さを持っているそうです。  
また、巳年は「み」の読みにかけて“実”を結ぶ年ともいわれています。  
めでたく生まれ年と同じ干支を迎えた6世代の農家を紹介します。



1953年生まれ

かんだ よしかず  
神田良一さん(71) 宍粟市  
水稲40畝を栽培

A

- ①大事に育てている農作物が、大きく実っていく過程を毎日見ることができる。また、収穫する瞬間も楽しいです。
- ②新しいことにチャレンジし続けていけるように脱皮して、水稲を完全な有機栽培にすることに挑戦したいです。
- ③12年後も、元気で何事にもチャレンジし続けている自分でありたい。今まで作ったことがない農作物にチャレンジしている自分でありたいです。
- ④「ハマグリを入れた雑煮」ですね。地元では正月に必ず食べるので、一番初めに思い浮かびました。

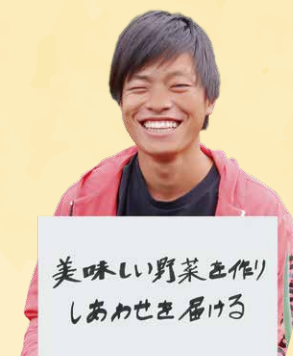


1977年生まれ

こにし ひでただ  
古西英匡さん(47) 丹波市  
若松1.5畝、小菊1畝を栽培

A

- ①農業は簡単そうに思われますが、実際は難しいからこそ楽しいと感じます。
- ②物価の高騰や高齢化などで農業経営はますます厳しくなっています。心にゆとりを持ち、自分の思うものを作りたいです。品目を増やすために「リンドウ」の栽培に挑戦したいです。
- ③12年後も農業に携わりながら、ゆとりのある事業継続をしたいです。
- ④正月飾りはやっぱり若松!



2001年生まれ

かもたに こうき  
鴨谷晃輝さん(23) 朝来市  
岩津ねぎ(共同)1.3畝、スイートコーン等1.5畝を栽培

A

- ①お客さまから「おいしい」と言ってもらえること。SNSの投稿に対して反応があるなど、自分の頑張りや成果に直結するところが面白いです。
- ②草引き作業から脱却したいです。約30万本の岩津ねぎの除草は手作業なので、草引きをしない作業体系を構築したいです。
- ③地元の給食に野菜を卸したいです。わが農家のこだわりは、BLOF(生態系調和型農業)理論に基づいた植物の力を引き出す土づくりです。いつか多品目の有機野菜を栽培することが夢です。
- ④ネギの収穫がピークでありお正月気分ではないですが、僕のネギを買うために他県から足を運んでくださるお客さまにお会いすることが励みです。かもたにファーム自慢の甘く、柔らかい岩津ねぎをぜひ一度ご賞味ください。

## 収入保険と私

就農歴:54年

ふじたひとし  
藤田均さん(72) 三木市



十数年間、ブドウのアライグマ被害に悩まされています。過去、ブドウが熟してくる時季に被害を受けてつらかったこともあり、近年はアライグマ対策に一層力を入れています。対策には多大な労力が必要であり、ブドウに対する補償がないかと常に模索していました。タイミングよく三木事務所の職員に収入保険の制度を紹介され、2025年1月からの加入を決めました。今まで被害に悩まされてきましたが、収入保険という備えができたおかげで、安心して農業に取り組むことができています。

収入保険は青色申告の人だけに加入資格があるので、ハードルが高いイメージの白色申告の人もしゃると思っています。青色申告への切り替えを勧めただいて、あらゆる被害に悩まされている農家が安心して農業に取り組めるように、今後もNOSAIに期待したいです。

レックひょうごー!

NOSAI  
ピックアップ



## 低樹高仕立てで色鮮やかに

ふじわらかつこ  
藤原勝彦さん(70) 神河町

「ユズ園全体をきれいに保つように心がけることで、必然的にきれいなユズができる」と話す藤原勝彦さんは、神河町根宇野地区で2024年4月から「根宇野ゆず生産組合」の組合長を務めています。

栽培の工夫は、樹高が2~2.5mの間になるように剪定すること。「木が効率的に太陽光を吸収するため、実が鮮やかな色になる。また、樹高が低くなることで収穫も楽になる」と話します。

「枯れ枝の除去やシカ対策など、やるべきことが多く大変だが、きれいなユズをお客さんに届けられたときはうれしい」と笑顔を見せる藤原さん。「今後も組合のみんなで一丸となってユズ栽培を続けていきたい。そして、ユズ園をきれいな状態で維持して守っていききたい」と意気込みます。

今回は、後継者や担い手不足の中、三田市に春の訪れを告げる伝統野菜を守り続けている三田野菜・産直の会 うど部会員の酒井繁治さん(74)にお話を伺いました。

### Q.三田うどにはどんな特長が?

軟白ウドで、生の大根に近い歯触りと、ハーブのような爽やかな香りです。昔はわら小屋と発酵熟を使っていたのですが、現在はビニールハウスと電熱を利用した栽培が主流です。

### Q.どのように栽培しますか?

春に株を植えて、12月下旬~1月に遮光されたハウス内に地中の根株を移して伏せ込みます。電熱綿を使用した場合、大体30日で収穫目安の60cm~80cmの長さに育ちます。収穫後は株分けして再び植えるので、中には大正時代から残っている株もあるかもしれません。

### Q.苦労していることは?

伏せ込み時の生育に必要な温度と湿度により、カビが発生しやすいことです。頻繁に確認するとハウスに冷気が入り、ウドが赤くなり過ぎてしまうので、管理もかなり大事です。

### Q.ずばり!今後の夢や目標は?

若い世代に継いでもらえるように、体力が続く限り頑張ります。

### Q.最後に、農業従事者の皆さんへ一言!

屈せずに農業を頑張っ、日本の農業を守っていきましょう。

### 特産品を守り続ける!



「口伝で広がった栽培方法と伝統を知ってもらいたい」と、春から育てたウドを持つ酒井さん(右)とJA兵庫六甲の藤井さん

### 次回!春号の取材先は...

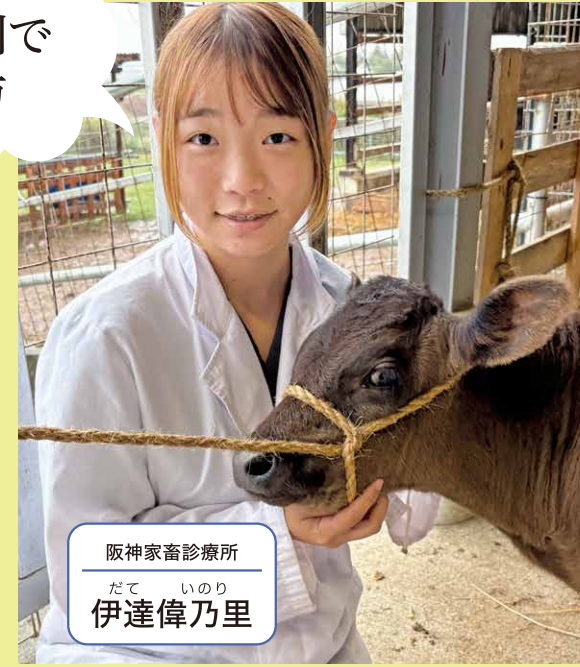


2度目の淡路!!

第4回も  
お楽しみに!  
企画広報課 小西

# 家畜診療だより

## 経口補液剤で 脱水予防



阪神家畜診療所  
だて いのり  
伊達偉乃里

生後間もない子牛の下痢症は脱水状態がひどくなることもあるので注意が必要です。農場ができる脱水の予防として、経口補液剤の給与があります。経口補液剤には脱水がひどくなった時に陥るアシドーシスという状態を緩和するための成分が含まれています。製品によって成分が違うので、使用する際に気を付ける点を紹介しましょう。

子牛が飲んだミルクは第4胃内で吸収されやすい形に凝固され、これをカード形成といいます。炭酸水素ナトリウムという成分が含まれている経口補液剤は、炭酸水素ナトリウムがカード形成を



経口補液剤  
(炭酸水素ナトリウム含)



経口補液剤  
(酢酸ナトリウム含)

妨げてしまうため、ミルクと一緒に給与すると消化不良を起こすことがあります。給与の際は哺乳から2時間程度間隔を空けるようにした方がいため、カーフハッチのようにミルクの給与をコントロールできる状況下での使用をお勧めします。酢酸ナトリウムという成分が含まれている経口補液剤はカード形成を阻害しないので、母子同居で飼養している場合に向いています。

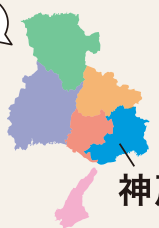
これから気温が下がり、子牛の下痢症が増える季節になります。経口補液剤の詳細な使用方法については、お近くの家畜診療所にご相談ください。

## ガンバレ!! 農家を 応援し隊

第3回

三田うど

今回は



神戸・阪神

兵庫県を6つに分け、くじで当たった地域へ突撃取材!

炊き込みご飯やきんぴらにするほか、酢みそを付けてそのまま食べてもおいしい三田うど。パスカルさんだ一番館(同市川除)を中心に、2月中旬から3月末ごろまで販売しています。

(写真提供:JA兵庫六甲)

知って/見ても  
NOSAI

佐用事務所



前列(左から)吉田、新庄  
後列(左から)執行、豊岡、中井

佐用事務所のある佐用町は特産のもち大豆「夢さよう」の栽培が盛んで、もち大豆を使ったみそが「元氣工房さよう」の直売所で人気となっています。

観光としてはヒマワリが有名で、時季にはたくさんの観光客が訪れています。種はひまわり油やドレッシング等に加工・販売されているので、気になった人はぜひ直売所にお立ち寄りください。

また、佐用は昼夜の寒暖差が大きい地域なので、おいしい米が作られているのですが、山間部に位置しているため、水稲などの獣害の被害報告が多い地域となっています。昨年度はイネカメムシも発生しました。今年度はイネカメムシの被害の見分け方を損害評価員に説明し、被害申告を出していただくことができました。今後も水稲共済へ加入していきたく思っています。